

# tot

vol.29

クロスワード・読者プレゼント  
アロマディフューザー

白熱教室

工学部電気工学科  
入倉 隆 先生



Miss & Mister  
Shibaura  
Grandprix Interview

写真で振り返る  
今年の芝浦祭

まだ半期

して留年

確定か

機械機能工学科二年 Y.O

夏休み

九月いっぱい

ほしいなあ

デザイン工学科一年 S.O

朝バスの  
階段ダッシュ  
地獄絵図

通信工学科一年 H.H

ポケモンGO  
ハマリにハマつて  
単位がGONE

電子情報システム学科三年 H.K

（編）社会現象になりましたよね。ほどほどに楽し  
みましょう。

（編）アイツより速く... 誰  
よりも速く.....

（編）ではそのまま冬休  
みいきますか？

（編）Never give up!  
Change your idea!

## 芝浦工大生川柳

第九回

選句：中村

授業後の

男子ばかりの  
部屋くさい

機械機能工学科三年 W.Y

あさおきて

なんとびっくり

九時だつた

デザイン工学科一年 K.T

ねえ君さあ

チエックシャツは

ださすぎる

機械機能工学科三年 Y.W

乃木坂  
檜坂へと

推し変だ

機械機能工学科二年 K.T

（編）あなたの気持ちは  
そんなものですか？両  
方推すのはだめなんですか？

（編）コーディネートの悪  
さをチェックに押し付け  
ては気の毒.....

（編）あと一寝入りしま  
しょう！

（編）それは青春のにお  
いです。

02 芝浦工大生川柳

特集

04 **写真で振り返る今年の芝浦祭**

06 **Miss&Mister Shibaura Grandprix Interview**

08 **白熱教室**

工学部電気工学科 入倉 隆 先生

18 読者プレゼント企画クロスワード

『アロマディフューザー』1名様

info

第44回芝浦祭  
2016年11月4日～6日  
@豊洲キャンパス  
撮影：tot 編集部

# 写真で振り返る 今年の芝浦祭。







# Interview: Koji Kanechika

ミスター芝浦インタビュー

システム理工学部機械制御システム学科3年 兼近耕次さん

MISTER  
SHIBAURA  
2016

## 出場した感想

楽しかったです！楽しんでやろうと決めていたので、達成できてよかったです。出場者同士でバチバチするイメージを持っている人もいるかもしれません、全然そんなことなくて。仲良く、楽しく参加できました。

## きっかけ

サークルの後輩から声をかけてもらいました。「兼近さんなら優勝できますよ(笑)」って。あと去年のミスターのまつみん(松本くん)からも後押しされて。迷ったけど、声をかけてもらった時は嬉しかったです。

## 変わったこと、意識するようにしたこと

服にあまり興味がなかったので、これまでジャージで大学へ来ていました。けどやっぱり出るからには応援してくれる人もいるわけで、出場が決まってからはジャージ登校をやめました(笑)

あとは、細すぎるとステージでもやしに見えちゃうので、体重を増やそうと頑張りました。太って筋肉をつけようとしてたくさん食べたんですけど、あんまり太れませんでした……。

## 優勝して変わったことは？

友達が増えました。生協に行くと声をかけてもらうことが多くて「頑張ってください」とか「おめでとうございます」と言わると、すごく嬉しいです。

大学だけでなく、出かけたときに街中で「ミスター出でてるの知っています」と声をかけてもらったこともあります。

## タキシードのごだわり

直感で「これだ！」って。一目惚れでした。誰よりも一番先に着ました。試着する時のスタッフの方やミスターの他の4人、実行委員にも「これっすね」とか「もう決まりましたね」とか言われて(笑)でもこういう機会はめったにないので、色々試してみたものの、一周回って最初に戻っちゃって。

## 来年のミスター出場者へ

ミスターにネガティブなイメージがある人もいるかもしれません、とても楽しいイベントです。なので、出たいという人が増えてくれると嬉しいですね。すごい楽しいから!!いろいろな人と繋がれるし。最初はとても悩んだけど、やってよかったと思います。それはグランプリが取れなくても同じだったと思っています。



# MISS SHIBAURA 2016

## Interview: Nami Kawamoto

ミス芝浦インタビュー

工学部応用化学科4年 川本奈実さん



### きっかけ

知り合いから声をかけられたのが、出場のきっかけです。以前にもミスコンや芝コレへの出場のオファーがあったのですが、人前に出るのが得意ではないということもあって、その時はお断りしてしまいました。今4年生で、最後の思い出になればいいなと思って、勇気を出して挑戦してみました。

### 出場した感想

挑戦したはいいものの、いざ人前に出るとなると、とても緊張しました。出場者の中では私が一番緊張してあたふたしていたんじゃないですかね(笑) 後からコンテストの写真を見てみると、楽しそうにしている自分が写っていたので、なんやかんや楽しんでいたのだと思います。

### 苦労したこと

ペア企画の衣装や、告白シチュエーションをどうするかなど、なかなか悩みました。4年生になってまさか、高校の制服を着ることになるとは思ってもいませんでした。これもまた、緊張したポイントかもしれません。

### 衣装へのこだわり

ディズニーのキャラクターは定番だし可愛くていいと思ったのですが、あえてUSJのミニオンを選んでみました！ つけていたワッペンは、友達がオリジナルでつくってくれました。

### 周りの反応は

仲良しの友達に話したときは「えっ、出るんだ！」と驚かれることが多かったです。やっぱり意外だったと思いますが、みんな応援してくれて嬉しかったです。

私は静岡出身ですが、地元の友だちも投票してくれて、ピックリしました。

### これから

卒業したら社会の一員としてがんばれたらと思います。不安と楽しみが半々、ドキドキな感じです。……でもまずは、無事に卒業したいですね(笑)

### ミスコンに興味ある人へ

みんなが経験できることではないので、不安のほうが大きいと思いますが、少しでも出たいと思う気持ちがあれば、是非挑戦してみてください！



# 白熱教室



電気工学科  
視覚情報研究室 入倉 隆 先生

今回は、人が過ごしやすい照明について研究されている、電気工学科の入倉先生にお話をうかがいました。

—今行っている研究活動について教えてください。

今は何かを研究しているというよりも、学生の指導がメインです。面白い研究テーマを見つけてもらつて学生が気持ちよく研究できるように、よりよい環境づくりを行っています。

大学に来る前は運輸省（今の国土交通省）で空港の灯火の研究をしていました。空港の滑走路にある光で、夜間や霧など視界がはつきりしない時にパイロットが見る灯火です。光は見る人にどのように影響を与えていたのかということを中心に研究していました。

—照明が人に与える影響について教えてください。

研究室でも調べているのですが、例を挙げると、くつろぎたいときは光の強さを落として黄色い光にするとゆったり楽しく会話ができる

一人でもくもくと仕事をしたい時には強い白い光がいいなどですかね。反対にあまりにも明るい光だと気持ち悪くなってしまって、効率はいいけれども質が落ちてしまことがあります。詳しいことははっきりしていませんが、作業内容やシーンごとにふさわしい光の条件は違うといえます。人間の感覚は非常に複雑なので、条件によって人がどのようなものを探んだり不快に感じたりするのか明らかにしていく研究は面白いですね。



——最近の照明についてのよいと  
悪いところは?



日本の照明分野の成熟度は高いです。最近、光源が白熱電球からLEDに置き換わってきていますが、LEDはいろいろな色の光を自由に作れるので、光源としては非常に柔軟性があります。最近はLEDを使ってさらにによりよい光環境をつくつていこうという研究が活発になってきています。よいところを挙げると、エネルギー効率を

考えた照明が作れるということです。例えば、部屋の中央に一個大きな照明がある場合を考えてみます。一個の照明で明るく照らすよりもは小さい照明をいくつかつけて照らした方が実際は暗くても、部屋全体が明るく感じてトータルの電気使用量が低くなります。発想を変えて手元や空間ではなく壁を明るくするという方法もあります。

人間は、壁を照らしている部屋の方が部屋全体を照らしている部屋よりも明るく感じる性質があります。光を上手に調節すると全体の光の量は少なくとも、電気代は安く空間はより明るく感じることができます。今と同等の快適性や明るさを維持しながら、使用するエネルギーを少なくするような照明ができます。悪い点は、人にとって不快な光が増えたということです。大学から豊洲駅まで歩いていく間にも地面から光が出ていたりイルミネーションが点滅していた

りしますよね。私個人の意見ですが、手軽に光使えるようになつた分、あちこちでたくさん光を使いすぎて光があふれ、逆効果になっていると思います。落ち着いた雰囲気がいいですね。

——最後に学生に向けてメッセージをお願いします。

学生が、わからないことをすぐスマホやパソコンで調べていることが気になりますね。自分の頭でわからぬことを考える機会がどんどん減つてしまいかという気がしています。調べる前に、まずは自分でなぜどうしてと考える力をつけることが大切です。いつも考えていれば、ふといいアイデアが浮かんでくることもありますから、「よく考えること」をしてほしいと思います。

——ありがとうございました。

## 入倉 隆先生

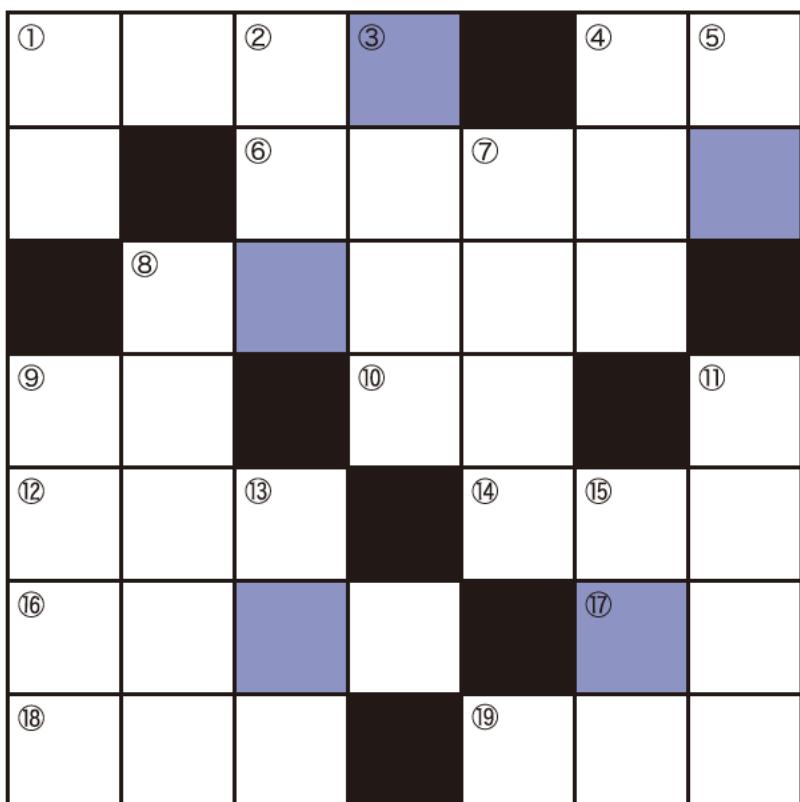
早稲田大学理工学部電気工学科卒業後、高松市役所、運輸省交通安全公害研究所勤務等を経て現在に至る。

担当授業：視覚と照明 ほか

所属学会：照明学会、感性工学会、日本視覚学会

著書：『視覚と照明』、『脳にきく色 身体にきく色』ほか

# 読者プレゼント企画 クロスワード



- ①和室の一段高くなっている場所。掛け軸がかけてあります。  
 ②広島といえばこの貝。加熱用〇〇は絶対に生で食べていけません。  
 ③超一流有名オーケストラの〇〇〇〇〇〇に行ってきた。  
 ④感謝を伝えることば。  
 ⑤加熱しすぎると中がスカスカになってしまいます。「〇〇立つ」  
 ⑥こんないい景色が見られるなんて、登った〇〇があつたなあ。  
 ⑦ラクラク手のひらサイズ。  
 ⑧役に立つ一方で害も与えるというたとえ。「〇〇〇の剣」  
 ⑨後世に伝えるべき遺産。英語で?  
 ⑩大阪では通りのことをこう呼びます。  
 ⑪フニッッシュ！  
 ⑫宅配便の受け取りに押すハンコ。〇〇〇印。

答え



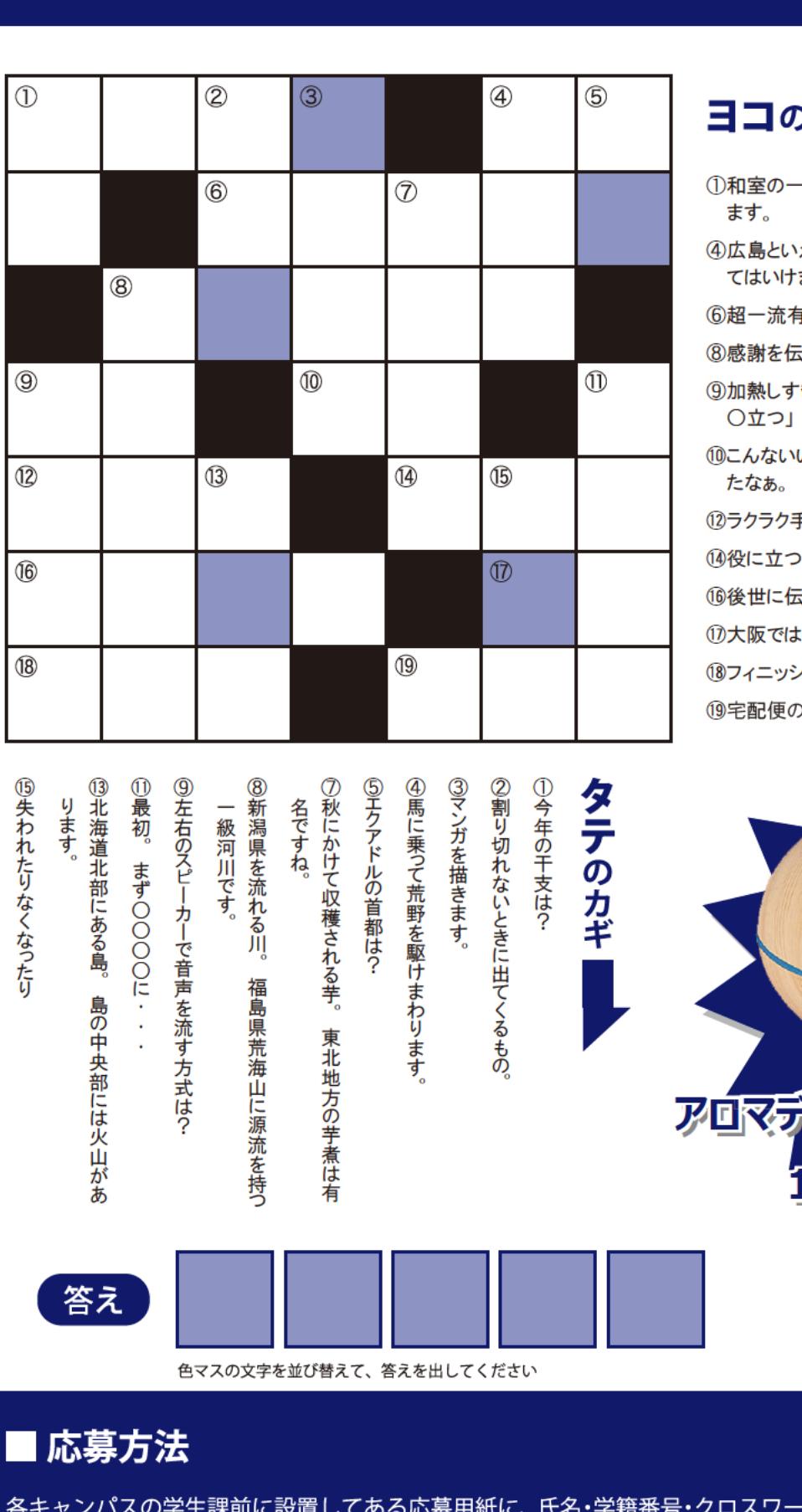
色マスの文字を並び替えて、答えを出してください

## ヨコのカギ

- ①今年の干支は?  
 ②割り切れないときに出でてくるもの。  
 ③マンガを描きます。  
 ④馬に乗って荒野を駆けまわります。  
 ⑤エクアドルの首都は?  
 ⑥秋にかけて収穫される芋。東北地方の芋煮は有名ですね。  
 ⑦新潟県を流れる川。福島県荒海山に源流を持つ一級河川です。  
 ⑧左右のスピーカーで音声を流す方式は?  
 ⑨最初。まず〇〇〇〇に…  
 ⑩北海道北部にある島。島の中央部には火山があります。  
 ⑪失われたりなくなったりります。



## タテのカギ



## ■ 応募方法

各キャンパスの学生課前に設置してある応募用紙に、氏名・学籍番号・クロスワードの答えを明記の上、応募ボックスに投函してください。また、Webサイトのアンケートフォームからもご応募できます。応募はお一人様につき一度限りとさせていただきます。応募期限は【2017年3月20日】までとなります。当選の結果は、個別にご連絡させていただきます。※読者プレゼント企画の対象者は、芝浦工業大学の学部生と大学院生のみとなります。ご了承ください。



URL : <http://www.tot-ch.com>

# tot 掲示板



## ☆☆編集部員募集中☆☆

一緒に tot、作りませんか？  
あなたの予定に合わせて活動します！

芝浦工業大学 学生情報誌 tot 編集部  
編集長：中村 浩昭 info@tot-ch.com



### « 編集後記 »

最近クロスワードにはまっています。ちょっとした頭の体操になるんですよね … (中村)

今号ではあまり制作に携わることができませんでした。部員のみなさんすみません …… そしてありがとうございます。(三田)

4月からM1です！友達100人できるかな！…… その前に、卒業しないと:-)(藤田)

ミスター、ミス芝浦の方、取材ありがとうございました。次号もお楽しみに！(大橋)

就活と研究に追われた一年でした。(挾)

### tot ホームページ

## 好評公開中！

tot 編集部 公式ホームページにて

紙面で伝えきれない

耳寄りな情報を提供します。

バックナンバーも公開中です。

※ コンテンツは順次追加していきます。

※ 更新情報は tot 編集部の Twitter に掲載しますので、フォローいただくといち早く閲覧いただけます。

### « 編集長より »

tot を手に取っていただきありがとうございます。新年あけましておめでとうございます。今年もよい年でありますように…

今号は12ページの構成で、前回よりページ数を減らしての発行となりました。「3号連続特集 キャンパスのある街」はお休みとさせていただきました。企画を楽しみにしていただいた皆様には申し訳ありません。

さて、裏表紙を見ていただけるとお分かりかと思いますが、現在 tot 編集部は大変深刻な人員不足に見舞われております。この状態が続くと、様々な企画を維持していくことが困難になる緊急事態です。tot 編集部では一緒に活動してくれる仲間を絶賛募集中です。tot 編集部を救ってください!!!

発行日／2017年1月16日

編集・発行／tot 編集部（編集長：中村 浩昭）

印刷／株式会社エスアイテック

お問い合わせ／info@tot-ch.com

Webサイト／http://tot-ch.com/

**tot**

vol.29 2017年1月16日発行

編集・発行／tot編集部



廃刊の危機、迫る。  
共に作る仲間を募集中。

info@tot-ch.com